

水産物の市況について(平成27年2月及び3月)

—東京都中央卸売市場における平成27年2月(平成27年1月21日～平成27年2月20日集計)の市況と、
平成27年3月の市況見通し(前月との比較)—

I 平成27年2月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計)は前月と比べ増加となり、卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は前月と比べ弱含みに推移しました。

II 平成27年3月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

入荷量は前月と比べ増加すると見込まれ、卸売価格は弱含みに推移すると見込まれます。

「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量は前月と比べやや増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。

「さば(生鮮品)」

入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

入荷量は前月と比べやや減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

入荷量は前月と比べやや増加すると見込まれるものの、時期的にサイズが大きくなっていくことから、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

入荷量は前月と比べやや増加すると見込まれるものの、卸売価格は春の需要期を迎えることから横ばいに推移すると見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

入荷量は前月と比べやや増加すると見込まれるものの、卸売価格は初物需要があることからやや強含みに推移すると見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み、横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	2月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
27年	45	944	39	1,135	46	1,076
前年	40	866	42	1,049	50	984

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。
 2:入荷量は生鮮品、冷凍品、加工品の合計。

主要品目の価格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	2月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	671	149	106	164
さけ・ます(平均)	857	98	100	136
(ぎんざけ塩蔵品)	929	100	120	143
(あきさけ塩蔵品)	621	100	117	128
(ときさけ塩蔵品)	864	100	99	117
(べにざけ塩蔵品)	1,058	100	102	125
(さけ類冷凍品)	820	97	96	138
さば(生鮮品)	422	95	98	107
するめいか(平均)	472	104	97	116
(生鮮品)	491	105	96	116
(冷凍品)	429	100	96	116
あじ(生鮮品)	768	125	114	150
まぐろ(冷凍品)	1,418	94	103	106
(めばち冷凍品)	1,054	100	113	109
(きはだ冷凍品)	973	100	104	112
(くろまぐろ冷凍品)	4,044	100	107	118
(みなみまぐろ冷凍品)	2,411	111	124	116
かつお(生鮮品)	544	62	66	73

注1:品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2:2月の価格は1~20日までの速報値を元に算出。平年とは平成22年~26年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ、アトランティックサーモンが含まれる。

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ、みなみまぐろが含まれる。

問い合わせ先:水産庁加工流通課企画調査班 代表 03-3502-8111 内線 6617 岡野、原、安井 直通 03-3591-5612
